

事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 ハグピア

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準以上のスペースが確保されています。エリア内はお子さんに合わせて工夫しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		基準以上の職員数を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		子どもが走り回っても大丈夫なように、待合室には余計なものを設置していない。掲示物などは画鋲などでとめずビクチャーレールを活用しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃及び、コロナウイルス感染予防の為に消毒を適時行っております。視覚的・聴覚的になるものは設置しないようにしています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		環境整備・清掃・物品管理などそれぞれ役割分担をし、全体管理を児童発達支援管理責任者が行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		「お気づきシート」を設置し、いつでも保護者の方が意見を述べられるようにしています。毎回のセラピー後にご家族との面談を実施しています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		まつど育成会のホームページに掲載しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は行っていませんが、法人の第三者委員に事業については報告しています。	法人の第三者委員による評価の方法及び、結果の業務改善方法については不十分でした。今後の課題として検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部からのスーパーバイズやコンサルテーションを受ける機会を設けています。また、初級ABAセラピスト研修で合格した職員に関してはフォローアップ研修を受けてもらっています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		日々のセラピー(支援)の中で子どもの成長を考慮し課題構成を行い、保護者の方と共有しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		新版K式発達検査とESCS(早期コミュニケーション評価)の検査をNPO法人ADDSの指導のもと行っています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		お子さんの様子を観察し、障がい特性やその子の得意な部分・苦手な部分など、あらゆる角度から分析し、保護者の気持ちや考えを考慮しつつ、スモールステップで成功体験を積み学習していけるよう、日々の課題構成を行っています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		各担当セラピストと話し合いながら、設定している課題をすすめています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別支援の中で例えば運動プログラムを入れよう、と課題を構成した場合、どういふことを行うかなどは担当セラピストと児童発達支援管理責任者で話し合っています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		課題の内容はお子さんの状況に合わせて、意識して変化させるようにしています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		現在、個別支援のみ行っているため、集団活動については明記していません。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		業務日報やケース予定表で毎日確認できるようにしています。	
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎回ケースの振り返りを行い、次回のセラピーでどうすべきかなどを共有しています。		

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		課題シートに毎回記録しています。		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月毎に児童発達支援計画書についてモニタリングをし、計画書を更新しています。		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者と管理者が参加しています。		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		各機関から要望がある際は関係者会議などへ参加しています。また、電話での聞き取りなどに応じています。		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				対象者がいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				対象者がいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要がある場合は連絡を取り、情報を共有する等連携しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要がある場合は連絡を取り、情報を共有する等連携しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			NPO法人ADDSのスーパーバイザーからスーパーバイズを月1回は受け、また、うめだあけぼの園の作業療法士からコンサルテーションを月1回は受けアドバイスや考え方を教授していただいています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在、コロナ禍のため特に機会を設けていません。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			管理者が地域のこども部会などへ参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			ケース開始前に聞き取り、ケース終了後にフィードバックを行う時間を設け、お子さんについて情報を共有しています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			ご家庭でも課題を行ってもらおう保護者参加型のプログラムを組んでおります。ネットシステムを活用し、課題の進捗状況などを共有できるようにし、課題のやり方などを利用時に伝えていきます。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			利用者負担等は、契約時に重要事項説明書等にて説明を行っています。また、ご不明点等がある場合は都度対応しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			児童発達支援計画書を基に提供する支援内容、課題等について説明を行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			来所時に1週間の様子などを聞く中で悩み等に応じています。必要があれば相談支援事業所へ繋ぎ、できるだけ迅速かつ丁寧に応じるようにしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在、コロナ禍のため保護者会等は開催していません。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			迅速かつ適切に対応するように心がけています。必要がある場合は、相談支援事業所と連携をはかっています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			連絡事項などはメールや電話連絡等で伝えていきます。法人全体では、年4回広報誌「Ohana」を発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			契約書に基づいた管理をしております。書類は、鍵付き棚に保管しています。	

非常時等の対応	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	お子さんに合ったコミュニケーションツールの確立をはかっています。また保護者の方とはPECSやサインなど共有し、日常に般化できるよう努めています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	現在、コロナ禍のため実施していませんが、法人では毎年9月に地域住民向けのイベント「まつぼっくりチャリティーバザー」を家族会と合同で開催しています。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	マニュアルは整備していますが、ご家族には十分な説明をしていませんでした。	ご家族の待合室に備え置くなどして改善に取り組めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	利用者を交えての避難訓練は行えていません。今後の課題として検討していきます。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	面談や見学時、また契約時などに確認を行っています。また、利用時に日々の様子を聞き取り、状況を把握しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	小麦粉アレルギーなどを把握し、おもちゃや教材で使用する物に関して米粉粘土を使用する等で対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	日報にて報告、共有しています。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	常法人全体の研修や新人研修時に教示しています。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	むやみに母子分離をすることはありませんが、学習基盤を整える中で母子分離を行う際などに協力をしていただく事など、想定できる内容を提示し伝えています。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 年 月 日

アンケート期間: 令和3年5月2日～令和3年5月27日

事業所名 ハグピア

保護者等数(児童数)26 回収数15 割合 57.6%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	0	0	0		基準以上のスペースが確保されています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0	0		基準以上の職員数を配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	0	0	0		子どもたちにわかりやすい情報提供と、環境づくりを行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	0	0	0		毎日の清掃及び、コロナウイルス感染予防の為に消毒を適時行っております。 視覚的・聴覚的・触覚的・嗅覚的・味覚的の刺激になるものは設置しないようにしています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15	0	0	0		日々のセラピー(支援)の中で子どもの成長を考慮し課題構成を行い、保護者の方と共有しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	0	0		お子さんの様子を観察し、障がい特性やその子の得意な部分・苦手な部分など、あらゆる角度から分析し、保護者の気持ちや考えを考慮しつつ、スモールステップで成功体験を積み学習していけるよう、日々の課題構成を行っています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	0	0		各担当セラピストと話し合いながら、設定している課題をすすめています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14	1	0	0		課題の内容は常に変化しているため、固定化されることが減多にありません。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	4	8	・コロナ禍ということもあるので仕方ないのかなと思います。 ・未通園	現在、コロナ禍のため特に機会を設けていません。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1	0	0		利用者負担等は、契約時に重要事項説明書等にて説明を行っております。また、ご不明点等がある場合は都度対応しています。	

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14	1	0	0		児童発達支援計画書を基に提供する支援内容、課題等について説明を行っています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	13	2	0	0		ご家庭でも課題を行っていただく保護者参加型のプログラムを組んでおります。ネットシステムを活用し、課題の進捗状況などを共有できるようにし、課題のやり方などを利用時に伝えています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15	0	0	0	とても親身になっていただいております。	ケース開始前に聞き取り、ケース終了後にフィードバックを行う時間を設け、お子さんについて情報を共有しています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1	0	0	質問に的確にお答え頂けて満足しております。	来所時に1週間の様子などを聞く中で悩み等に応じています。必要があれば相談支援事業所へ繋ぎ、できるだけ迅速かつ丁寧に応じるようにしています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	3	10	コロナのため、接触がない。	現在、コロナ禍のため保護者会等は開催していません。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	0	0	0		迅速かつ適切に対応するように心がけています。必要がある場合は、相談支援事業所と連携をはかっています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	0	0	0		お子さんに合ったコミュニケーションツールの確立をはかっています。また保護者の方とはPECSやサインなど共有し、日常に般化できるよう努めています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	1	0	5	私自身が目にする機会が無いのでわかりません。	連絡事項などはメールや電話連絡等で伝えています。法人全体では、年4回広報誌「Ohana」を発行しています。
非常時等の	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	13	1	0	1		利用開始時に取り交わした契約書等の内容に基づき取り扱っております。
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2	1	1	11	・私自身が目にする機会が無いのでわかりません。 ・分からないがメール等で都度連絡はしていただいている。	マニュアルは整備していますが、ご家族には十分な説明をしていませんでした。ご家族の待合室に備え置くなどして改善に取り組めます。

対応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1	1	11	私自身が目にする機会が無いのでわかりません。	子どもたちを交えての避難訓練は行えていませんでした。今後の課題として検討していきます。
	満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15	0	0	0	
23		事業所の支援に満足しているか	15	0	0	0		お子さんや保護者の方に満足していただけるよう、これからも療育の質の向上に努めて参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。